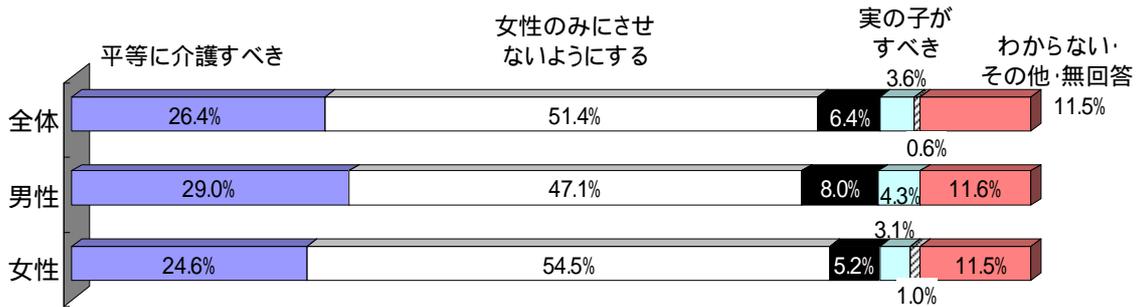
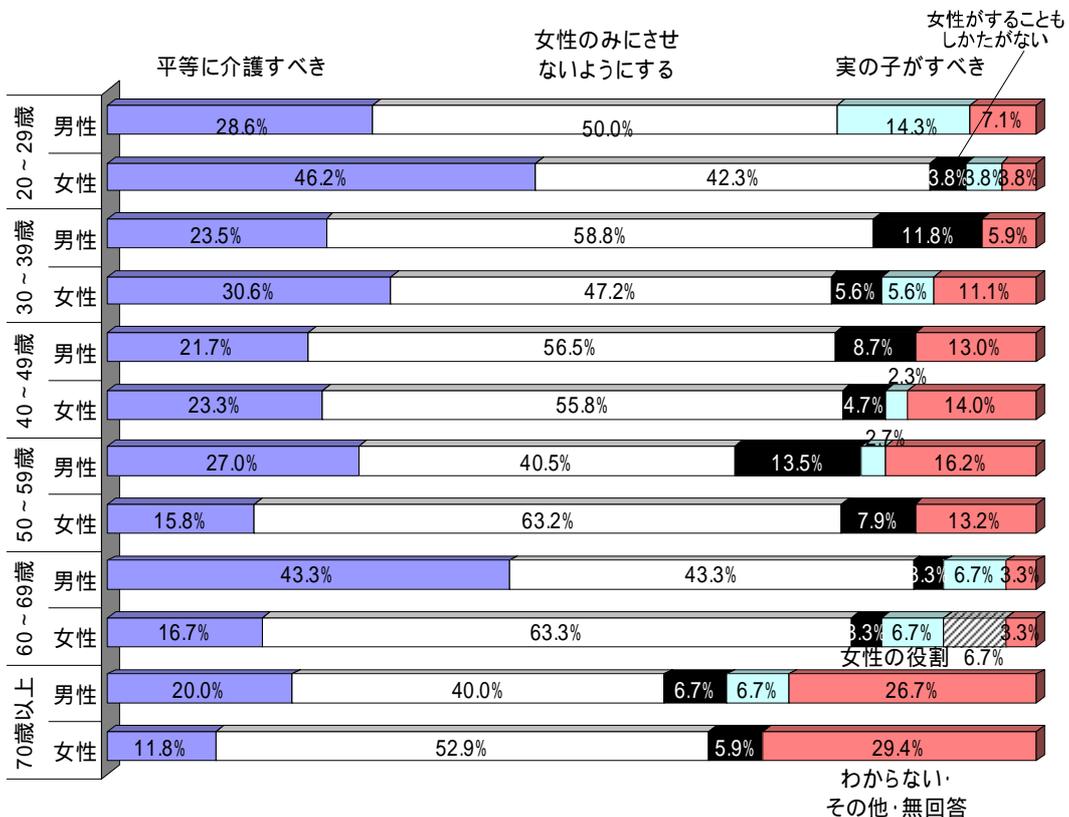


問7 家族が寝たきりなどになった場合の介護について、あなたはどのように考えますか？

- 男女とも平等に介護すべき
- 男性も努力して、女性のみ介護をさせないようにするのがよい
- 男性は働いている場合が多いので、女性が介護することはしかたがない
- 男女に関わらず実の子が介護をすべき
- 介護は当然女性の役割だと思う
- わからない
- その他



男女の意識の差はあまりありません。「平等にすべき」は男性が 29.0%、女性が 24.5% で男性の方が平等意識がわずかに高くなっています。一番多いのは「男性も努力して女性のみをさせない」で女性 54.5% 男性の 47.1% と、男女とも 2 人に 1 人の人が選んでいます。また、「男性も努力して女性のみをさせない」に「女性がすることしかたがない」「女性の役割」を足すと男性 55.1% に対し女性 60.7% で、男性より女性の方が介護は女性の役割と考えています。



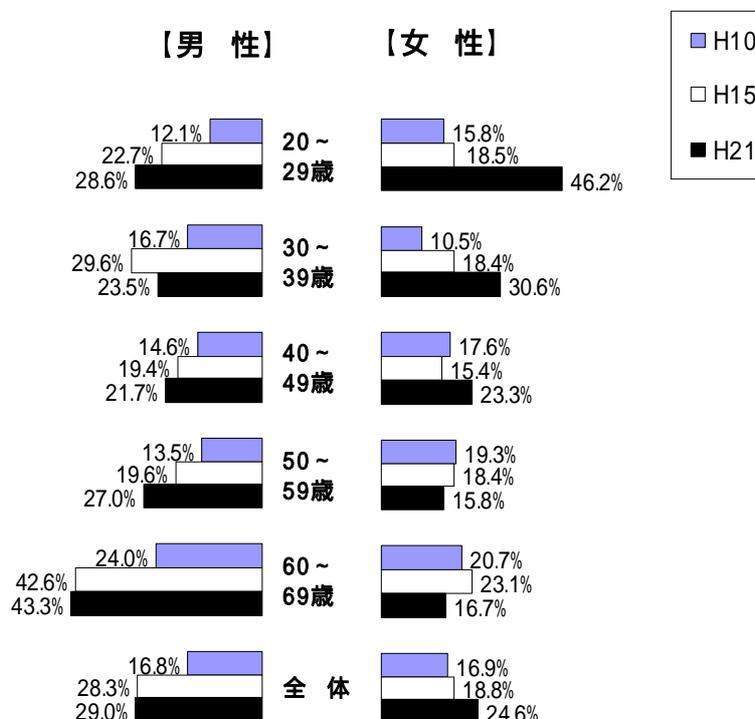
「女性のみによさない」はほぼ全年代で一番多くなっています。「平等にすべき」は若い世代で高く、特に女性は年代があがるにつれて割合が下がる傾向にあり、その差も 20 代女性の 46.2%に対し 60 代女性の 16.7%と大きくなっています。

平等感が強いのが 20 代女性で、「平等にすべき」の割合が 46.2%と一番多く、2 人に 1 人が回答しています。

60 代は男性は平等感が強い一方、女性は「女性の役割」と考える傾向があります。男性は 43.3%が「平等にすべき」と答え、前後の年代に比べ突出しています。「女性のみによさない」も 43.3%と同じ割合です。一方同年代の女性は「女性のみによさない」が 63.3%と全年代でも一番高く、更に唯一「女性の役割」と回答した方がいました。

➤ 「その他の意見」の詳細は、P 5 8をご覧ください

【「平等にすべき」と回答した割合の比較】



全体的に上がっています。また、平成 10 年度調査では男女ともに年齢が高くなるにつれ「平等にすべき」と回答した割合も高くなる傾向にあったのが、今回の調査では、男性は 60 代は依然として高いものの他の年代は平均的になり、女性は年代があがるにつれて下がる傾向にあります。

特に伸びたのは 20 代女性で、前々回調査時には 15.8%と女性の中では低い方だったのが、今回は 46.2%に伸び全世代・性別の中でも一番高くなりました。

平成 10 年度調査で唯一の 20%台という高い数値を示した 60 代は他の世代と異なる傾向にあり、男性は伸びて 20 代女性に次ぎ 43.3%と高くなった一方、女性は減少し 16.7%と男女間の意識の差が大きくなっています。